

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		後期高齢者医療事務事業						予算事業名		一般管理事務経費			
予 算 科 目		会計	03	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律			
				01	01	01	0501	経常経費					
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分	主要事業				
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）											
		④健康保険制度の適正運営						担当課係等	保険年金課				
2後期高齢者医療の適正運営						医療福祉係							
事業期間		継続（ 年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
運営主体である後期高齢者医療広域連合と連携し，円滑な窓口業務を行う。							平成20年4月から「老人保健制度」が廃止され「後期高齢者医療制度」が開始された。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
後期高齢者医療保険料の徴収及び被保険者証の交付，各種申請・届出の受付事務，高齢者健診業務を行う。							後期高齢者被保険者						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							少子高齢化の進展により今後ますます被保険者が増加し，高齢化率は上昇していく。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
・被保険者証の交付 ・保険料の徴収 ・各種申請届出の受付業務 ・高齢者健診業務 ・保険事業と介護予防の一体的実施				・被保険者証の交付 ・保険料の徴収 ・各種申請届出の受付業務 ・高齢者健診業務 ・保険事業と介護予防の一体的実施				・被保険者証の交付 ・保険料の徴収 ・各種申請届出の受付業務 ・高齢者健診業務 ・保険事業と介護予防の一体的実施					
■事業費													
				R01年度		R02年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	242	352						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	4,776	6,850						
	一		般	財	源	8,701	9,515						
歳入計（千円）				13,719		16,717							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	10	需用費		199		274							
	11	役務費		3,995		4,400							
	12	委託料		9,525		12,043							
歳出計（千円）（A）				13,719		16,717							
伸び率（％）						21.85							
備考	総合計画 52 ページ 予算書 251～252 ページ 一般管理事務経費と徴収事務経費を事業費とする。												

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	被保険者数	人	目標	7,320.00	7,500.00	7,680.00
			実績	7,332.00	0.00	0.00
	徴収率	%	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	99.10	0.00	0.00
成果 指標	健診受診率	%	目標	20.00	20.00	20.00
			実績	12.81	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	現在の後期高齢者医療制度では必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外に実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	行政以外に実施できない事業である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	被保険者の増加に伴い、事務経費が増加し、窓口対応も増えている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	被保険者全員が受益者であり偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	対象者に対し、広く便益を提供しているが健康診査受診率の低迷等向上させていく必要がある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	対象者に対し、概ね順調に進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業全体としては概ね順調に進んでいるが、今後、ますます被保険者の増加に伴い、業務量が増加すると思われる。 また、令和3年度から保健事業と介護予防の一体的に実施する業務が新たに始まるため、庁内関係課と連携して業務を進める。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
業務量の増加に対応できるよう、広域連合と連携を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 被保険者は、増加するのみなので、業務量も年々増加している。事務の効率化や省力化を図っていく必要がある。 また、新たな業務として介護予防と一体的に実施する保健事業を行うため、部・課を超えた連携を進める必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	